

情報システム・バックアップオフィス研究会 第13回 議事録

(敬称略)

1. 会合概要

- ・ 開催日 : 2009年12月3日(木) 16:00~18:00
- ・ 開催場所 : BCAO 虎ノ門事務所 会議室
- ・ 進行役 : 大塚 純一 日本アイ・ピー・エム(座長)
- ・ 議事録作成 : 羽石(日立電子サービス)
- ・ 出席者数 : 15名
- ・ 資料 : 第13回 研究会 アジェンダ
ITBO用語
アンケート用紙 - 09年度活動計画案について -

2. 議事内容

(1) 事務局報告関連

研究会メンバー

- 新規入会者 : 1名(近棟様(株式会社エム・ピー・アイ))
- 登録済研究会メンバー数 : 43名
- 座長・副座長 : 3名

研究会メンバー 計 : 47名

前回議事録(略)

11月のイベント

セミナー: 企業の危機管理の国際動向 - BCMの最新動向 -

開催日: 11月6日(金)

主催: 東京理科大学 総合研究機構 危機管理・安全科学技術研究部門

テーマ:

- ・「BCMへの国際的取り組み - ISOと英国規格」篠原 雅道氏
- ・「米国におけるBCM最新事情」 ナターン・リー・ローデン氏
- ・「企業の危機管理におけるBCMの位置づけ」 原田 泉氏
- ・パネルディスカッション

「事業継続ガイドライン 第二版」公表

公表日: 11月13日

<http://www.bousai.go.jp/MinkanToShijyou/guideline02.pdf>

BCAO月例講習会

開催日：11月25日（水）

テーマ：

- ・「都市型震災と事業継続計画（BCP）における地域貢献・連携の研究」

講師：鍵屋理事（地域貢献・連携研究会座長）

- ・「これからの新型インフルエンザ対応シミュレーション」

講師：細坪事務局長・理事

BCM Conference 2009

開催日：11月27日（金）

今後のイベント

新型インフルエンザ対策セミナー ～パンデミック時の資金繰り・財務決算問題～

日時：12月10日（木） 14：00～16：30

場所：新宿区立牛込笹塚区民ホール

BCAO 月例講習会

日時：12月16日（水）

場所：国立オリンピック青少年センター 国際交流棟 国際会議室

2009年度 第2回 BCAO 認定事業継続初級管理者試験

日時：12月20日（日） 10：00～16：45

場所：中央大学駿河台記念館

連絡事項

虎ノ門オフィスの賃借契約が12月で満了となるため、1月以降の開催場所は決定次第ご連絡。

(2) ITBO 用語の整理：山下様、田畑様

今回の用語は、DRP（ディザスターリカバリープラン）、ホットサイト、ウォームサイト、コールドサイト、ミラーサイト、について。

『DRP』

DR というと、災害復旧というイメージが強い。パンデミックも含めると、IT の BCP = DRP というのはしっくりこない。

災害 = 自然災害だけではない。

NIST が「SP800-34」を発行。IPA に翻訳版があり。これらも用語の整理には参考になるのでは。

IT 中断の要因になるという意味では、サーバーセキュリティも同列のリスクと認

識している。

「DRP」も言葉が出てきた当初は「BCP」に近い意味で使われていた（BCP、コンティンジェンシープランという言葉もなかった時代）。今は文字通りの意味で使われている。

言葉の意味を理解するには、使われ始めた時期やそれ以降の歴史も知る必要があるのでは。

『ホットサイト、ウォームサイト、コールドサイト、ミラーサイト』
サイトの定義の区切り方についてはもう少し議論が必要ではないか。

「サイト」がサーバと拠点の2つの意味を持っている。

「サイト」はサーバのことではなく、場所のこと。

システムだけでなく人なども含めた環境のことでは？

IT分野以外の人にも分かるような定義が必要では？

(3) プレゼンテーション「NEC グループのBCP策定」：坂本様（日本電気株式会社）

発表概要は以下の3点。

BS25999の認証取得について

NECグループにおけるBCPの取り組み、

新型インフルエンザの取り組み

BSIジャパンのWebサイトにて、認証取得のメリットなどの情報が出ている

BIAの範囲については、製造はバリューチェーン全体、ソリューションは事業部単位で考えた。

取り組みの工夫としては以下の3点

BCPについての基本的な考えを周知

ツール（ガイドやHP）の活用

維持・運用

顧客へのサービス提供形態や顧客の業種/拠点の形態に応じて、顧客との調整の要/不要を決めている。顧客先への常駐や複数拠点を持つ顧客のパターンでは調整が必要と考えている。

NECのBCPについて顧客とのコンセンサスは？

推進はしているが、実際に完了しているのはわずかで、その場合も顧客から問い合わせがあったケースがほとんど。

地震保険を利用する手段もあるが、（特に東京/横浜では）保険料が高くなる。

(4) 訓練に関わるアンケートについて：土橋様（みずほ情報総研）

- ・ 本日の研究会の前にメーリングリストで配布したアンケート案についてご意見があればいただきたい。
- ・ いただいた意見を反映した内容で先行的にアンケートを実施し、1月の研究会で発表

したい。

何名かの方にはご協力をお願いすることもあるので、その際はぜひご協力をお願いしたい。

3. 次回研究会の開催予定

開催日時：1月7日（木） 16:00～

場所：大成建設 17階会議室

新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル

事務局が虎ノ門オフィスから移転するため、2月以降は決定次第ご連絡

4. 第13回研究会出席者一覧

	氏名	会社名
1	大塚 純一	日本アイ・ピー・エム株式会社
2	関山 雄介	大成建設株式会社
3	川村 丹美	株式会社シーエーシー
4	伊藤 高信	TeleContinuity, Inc
5	伊藤 豊	中部日本電気ソフトウェア株式会社
6	加藤 誠	株式会社日立製作所(日立コンサルティング)
7	衣笠 宗彦	株式会社モア・イフェクト
8	近藤 隆一	株式会社富士通エフサス
9	下吹越 正弘	株式会社内田洋行
10	田畑 伸悟	日本アイ・ピー・エム株式会社
11	近棟あづさ	(株)エム・ピー・アイ
12	土橋 篤	みずほ情報総研
13	間 博之	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
14	羽石 将士	株式会社 日立製作所
15	山下 晋也	日本アイ・ピー・エム株式会社
16	吉川 明人	NECネクサソリューションズ

以上